

# 協働通信

## 各地域での文化祭(展)の紹介

「芸術の秋」にちなんで11月、市内の東桂地域、禾生地域、宝地域で地域の皆さんが作ったさまざまな芸術作品を展示したり、発表したりする文化祭(展)が開催されました。今回は、この文化祭(展)の様子や主催者の思いなどを紹介します。

### まちづくり文化祭・東桂

平成13年、手探りで始めた「まちづくり文化祭・東桂」も今年で10回目を迎えました。最初の入場者は約700名でしたが、地域の皆さんのご協力により、現在は2,000名を超える入場者を迎えるまでになりました。この文化祭に協力していただいた多くの皆さんに感謝申し上げます。

- ▽都留市まちづくり市民活動支援センター  
上谷2-1-15
- ▽開館  
月～金曜日(祝日除)  
8:30～17:30
- ▽問合せ  
☎(46)5236  
FAX(46)5237  
E-mail:shien@city.tsuru.yamanashi.jp

謝申し上げます。

会場は、コーラスや舞踊などのステージ公演、陶芸・書道・俳句・写真などの作品展示が行われました。多彩な催し物に参加者の皆さんは、驚きの声をあげていました。企画、立案、運営の段階から実施に至るまで、多くの皆さんが関わった、この手作りの文化祭は、子どもからお年寄りまで幅広い年齢層に生涯学習、また社会参加を促しています。

今後より住みよい、住んでいて良かったと思われるまち「東桂」となるために、住民の皆さんと一緒に、この「まちづくり文化祭」を作り上げていきたいと思っています。

### 禾生地域文化展

第5回禾生地域文化展を11月20日、21日の両日、開催しました。フラワーアレンジメントで飾られたアーチをくぐると、生け花の香りに包ま

■体育館を埋めつくすほどの展示品があります。午後には、ステージ公演も行われました。



れた会場が広がり、陶芸、俳句、絵手紙、パッチワークの数々の丹精込められた作品が並びました。2階には、絵画、写真、書道、刻字、切り絵、押し花、竹細工、映画レトロパンフレクション、編みかごやビーズ作品などの手芸作品が展示され、バラエティに富んだ文化展となりました。

天気にも恵まれ、今年はどうな作品が展示されているだろうと期待を胸に来場してくださる方々との交流の場もあり、文化を語らうひとときを過ごすことが出来ました。過去最高の300名の来場者で賑わいました。

この文化展の開催は、禾生地域の文化向上、発展につながっていくと確信し、また、来年へと作品の創作にますます意欲がわいてきます。



■力作ぞろいの陶芸作品に皆さん驚いていました。

### 文化展七里まつり

平成20年度から始まった宝地域の文化展も3年目となり、年々出展者、出品数も増え賑わいを見せています。

特に三世代交流として、宝保育所園児のお遊戯発表や小学生を対象とした工作教室は、世代を超えた共感を得ています。また、宝小児童や宝コーラスの皆さんの合唱、金管楽器グループ「ぶらっとぶらす」の演奏、宝っ子クラブのハンドベルや農産物販売、健康教室、劇など多彩な催し物がありました。また、作品も油絵の大作から絵手紙、写真、手芸作品、生け花など多種多様な作品が集まり宝地域の文化への関心の高さを実感しました。

大勢の方と協力し、文化展を開催することで、「協働」という言葉の本当の意味を実感し感動しました。今後も、この感動を二人でも多くの方々に実感してもらうため、参加を呼び掛け、ますます意義深い文化展へと発展させていきたいと考えています。

■「宝っ子クラブ七里」の子どもたちが作ったおいしい野菜を販売していました。

